

# REPORT & INFORMATION

## 各地域での学習会の報告

北海道

(財)日本ユニセフ協会 北海道支部

日時

3月9日(日) 13:00 ~ 16:00  
 子どもの権利条約について調べたことの発表  
 ユニセフビデオ「水と子ども」を見る  
 ビデオを見ての感想  
 今後の活動についての話し合い  
 次回の学習会について

日時

4月2日(火) 13:00 ~ 16:00  
 子どもの商業的搾取とは何か?

日時

横浜会議の報告  
 私たちにできること  
 感想・意見交換  
 今後の活動について



九州

(福岡サンパレス第一会議室)

日時

4月1日(月) 11:30 ~ 17:00  
 自己紹介 討論のチーム分け  
 チーム内の作戦会議  
 子どもの権利条約についての学習会  
 討論ゲーム(アフガニスタンの子どもが食べ物を盗んだら罪?)  
 九州の子どもネットの活動について

日時

関東

(財)日本ユニセフ協会 2階会議室

日時

3月28日(木) 10:30 ~ 16:00  
 自己紹介  
 ユニセフってなあに?  
 食糧問題に関する発表  
 感想・意見交換  
 自分たちに何ができるかを考えよう  
 次回の学習会について

4月27日 14:00 ~ 16:15  
 自己紹介 & フリートーク  
 ワークショップ「新しい惑星への旅」  
 新しい惑星にはじめておりたつことになつたそれぞれのグループ。  
 地球から何を持っていくか考えます。  
 あ! 事故があつて、持っていくものをへらさなければなりません。どうしても持っていくもので最後まで残るのは一体どんなものでしょう?  
 「権利」って何だろう、話し合い

日時

## 関東の学習会(3月28日)では、食糧問題について調べてきたことが発表されました。

食糧が十分ではなく、栄養が足りていない人びとは、アジア、アフリカの国に多いということが分かりました。そして、人びとが貧しいのは仕事がないからです。自給自足しようとしてもすべての人が自分の土地を持つているわけではなく、種を買うお金もあります。世界的にみれば、世界中の人々が十分食べられるだけの食糧を生産しています。どうしてその食糧がみんなにいきわたらないのかを考えました。その裏には貧困があるようでした。裕福な人の裏には、苦しんでいる人がいます。助けるためにできることを私達は考え、それを行動に移すことができればいいと思いました。

須賀 知佐子 13歳



## お知らせ

### ユニセフ子どもネットニュースNo.2 ネットワーカー記者募集

子どもネットニュースの次号のインタビューでは、現在ユニセフ本部の事業資金部で上席事業資金担当官をしていらっしゃる久木田純さんにお話をうかがう予定です。久木田さんは3月までユニセフ・バングラデシュ事務所の副代表をされており、日本人ユニセフスタッフの中でも長いキャリアを持つベテランスタッフです。バングラデシュのほかモルディブ、ナミビアなどではたらいでこられました。ネットワーカー記者は4~5人募集します。応募者が多いときは、抽選または選考のうえ、みなさんにご連絡します。ネットワーカー記者をやってみたい、という人は下の欄にあることを書いて、郵便、ファックス、電子メールで送ってください。

しみきりは、6月28日(金)必着です。  
 インタビューの日は、7月なかばから後半の土曜日または日曜日を予定しています。ネットワーカー記者の交通費は日本ユニセフ協会が負担します。



1. ネットワーカー番号
2. 名前
3. 学年(年齢)
4. 住所、電話などの連絡先
5. 久木田さんに聞いてみたいこと(3つ以上書いてください)

## ユニセフ子どもネットワーカーが オリンピックに出たよ!

2002年2月25日、ソルトレーキシティで開かれた冬季オリンピックの閉会式で、世界から集まつた8人の子どものひとりとして、ユニセフ子どもネットワーカーの吉田実花さん(12歳)が、オリンピックの旗を運ぶという大役をはたしました。吉田さんは「第2回子どもの商業的搾取に反対する世界会議」に子どもの代表として参加し、それがきっかけとなつて参加することになりました。



©UNICEF

## お問い合わせやもうしこみは

ユニセフ子どもネット事務局

(日本ユニセフ協会 広報室内)

住所: 〒108-8607

東京都港区高輪4-6-12

電話: 03-5789-2016

ファックス: 03-5789-2036

電子メール: jcuinfo@unicef.or.jp



北海道の学習会(4月2日)では、横浜会議の成果を話し合いました。

吉田倫哉くんの報告を中心、子どもの商業的搾取の問題についてくわしく話し合った北海道の学習会では、最後に自分たちにできることを考え、次のような意見がでました。

- ・ 少しでも多くの人びとに知ってもらい、加害者を生み出さないようにする
- ・ 政府に必要な資金を国際機関やNGOに出すよう求める
- ・ 子ども買春・子どもボルノ禁止法の見直しに参加する

## 学習会のお知らせ

関東

日時: 6月22日(土)午後1:00 ~ 午後4:00  
 会場: (財)日本ユニセフ協会 2階 会議室

今回の会議では、今まで子どもネットがやってきましたこと、これから何をやりたいか、話します。(呼びかけ人: 綱野合亜人)  
 関東地区以外に住んでいる人も参加できますが、交通費は参加者の負担です。はじめてでもいいじょうぶです。  
 学習会に参加を希望する人は、「関東学習会(6/22)参加希望」と書いて、ユニセフ子どもネット事務局まで、ネットワーカー番号と名前、学年(年齢)を伝えてください。郵便でもファックスでも電子メールでもだいじょうぶです。(できるだけ前日までに申し込んでください。会場までの地図がほしい人は「地図希望」と書いてください。)

## オリンピックに行って

私は「もしこれが世界の縮図であったら、戦争

7人の子どものうち、5人は里子に行っていたり、ずっと戦争をしている国の子どもであつたり、戦争で親をなくした子であつたり、私たちから見ればとても幸せとはいえない状況の子どもたちばかりでした。でも8人は家族のように仲良くなることができました。

私は「もしこれが世界の縮図であったら、戦争

もおこらず、みんなが

家族のように仲良く

すごせるのに」と思い

ました。(吉田実花)

